

大学院社会文化科学研究科文明動態学シンポジウム

# モニユメント から見る 文明動態論

岡山大学大学院社会文化科学研究科では、2019年に岡山大学文明動態学研究所 (Institute for Research on the Dynamics of Civilizations) の設置を目指しています。

吉備地方は、最終氷期最盛期以降3万年以上にわたる気候変動の中で生じた大規模な環境変化と、それに関わる人類の営みの変化が地層にタイムカプセルとして保存された、世界でも貴重な地域です。

この研究所は、この吉備を拠点としながら、人類がどのように気候変動や環境変化に対峙または順応し、営みを継続してきたか、人間活動が環境にどのような影響をもたらしてきたかを分析し、「文明動態学」という新しい視点から地球規模の人類や環境の問題に提言を発信していく目的で設立されます。その設立にあたって、日本の著名な考古学者、人類学者をお招きして、シンポジウムを開催いたします。

日時

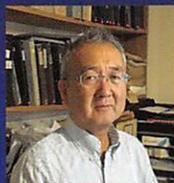
2018年2月24日【土】13:00～16:00

会場

岡山シティミュージアム4階 講義室

定員

80名 (予約なし先着順)



講師：杉山 三郎氏【愛知県立大学】

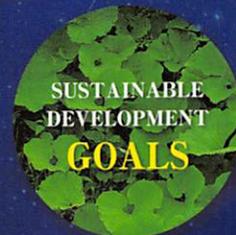
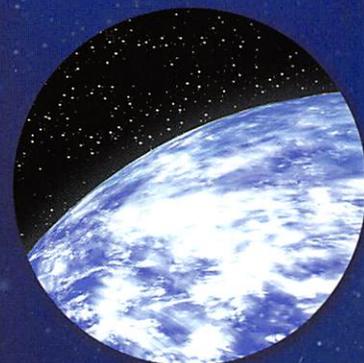
メキシコ国立人類学歴史研究所研究員、アリゾナ州立大学人類学部研究教授、等を経て、現在、愛知県立大学特任教授。数十年にわたって、「神々の都」と人々からあがめられる世界屈指の古代遺跡「テオティワカン」の発掘に携わる、日本を代表する考古学者、人類学者。



講師：松木 武彦氏【国立歴史民俗博物館】

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター助手、岡山大学社会文化科学研究科教授、等を経て、現在、国立歴史民俗博物館考古研究系教授。日本列島の古墳研究、戦争の考古学的研究、人口および古気候の復元などを通じ国家形成論を展開。さらに、進化・認知科学を用いた考古学理論の再構築を進める気鋭の研究者。

コーディネーター：松本 直子氏【岡山大学社会文化科学研究科教授】



会場 MAP



岡山シティミュージアム

〒700-0024 岡山市北区駅元町15-1  
TEL: 086-898-3000

URL <http://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum/>

ご注意：契約駐車場はありません。  
車でお越しの方は、付近の有料駐車場をご利用ください。

シンポジウム

無料

別途入館料

300円

◆このシンポジウムは展示会の催し物のひとつです。  
シンポジウムは無料ですが、入館料300円が必要です。

◆展示会について

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター設立30周年  
第4回特別展示「瀬戸内海が育んだ交流の記憶」岡山シティミュージアム4階 展示室  
2018年1月19日～3月4日まで開催

◆詳細は社会文化科学研究科担当者まで  
岡山大学社会文化科学研究科 担当：清家 TEL&FAX: 086-251-7457

シンポジウム主催：岡山大学社会文化科学研究科

展示会主催：岡山大学埋蔵文化財調査研究センター